

Origin リリースノート

Version 7.5J SR2 パッチ

March 18, 2004

本リリースノートは日本語 Origin/OriginPro 7.5 のオリジナル・リリースバージョンである v. 7.5775 に対し、SR2 パッチプログラムを適用して得られるサービスリリース 2 (SR2, v. 7.5822) に関するものです。お持ちの Origin のバージョンを確認するには、Origin/OriginPro を起動し、その中から「ヘルプ：バージョン情報」メニューを選んでください。

=> Origin 7.5 で新たに利用可能となった新機能については、Origin 製品についてきます「Getting Started」マニュアルの第 3 章「Origin 7.5 の新機能」をご参照ください。また、本パッチ以前のサービスリリースのリリースノートは、<http://www.originlab.jp/index.aspx?pid=562> より閲覧ください。

目次

日本語関係	2
データ解析：曲線フィット	2
プロット	2
ウィンドウ：グラフ	2
グラフィック/テキスト オブジェクト	2
データ/イメージのインポート/エクスポート	2
グラフのインポート/エクスポート	3
LabTalk スクリプト	3
コードビルダ	3
Origin C	4
ダイアログビルダ	4
OriginPro : MOCA	5
オートメーション・サーバー	5
その他	5
ライセンス管理	5
インストール処理	5



OriginLab Corporation
One Roundhouse Plaza
Northampton, MA 01060 USA

(800) 969-7720, (413) 586-2013
Fax (413) 585-0126
www.originlab.com

日本語関係

コンピュータにより「作図のセットアップ」や「疎データの行列変換」のダイアログで日本語が文字化けする可能性がある問題が解決しました。(ID 5871)

データ解析：曲線フィット

(シグモイド曲線フィットツールによる)ロジスティックフィットが、軸スケールが線形に設定された場合でも実行可能になりました。(ID 5870)

プロット

Y 軸スケールが log10 に設定された場合、面積グラフや棒グラフの X 軸刻みと目盛ラベルが正しく表示されるようになりました。(ID 5901)

2重 Y 軸プロットにおいて、X 軸がデータセットからのテキストであるような場合も、正しく動作するようになりました。(ID 5930)

ウィンドウ：グラフ

コンピュータにより、任意のグラフで線形スケールの目盛ラベルが表示されない場合がある問題が解決しました。(ID 5902)

グラフィック/テキスト オブジェクト

データプロットの最初のポイントのシンボルサイズ 0 の場合、凡例中のプロットシンボルが正しく表示されない問題が解決しました。このような条件の場合、次のように @PMO システム変数を設定してください：@PMO = 0; // デフォルト 0 オフセット(旧来設定) @PMO = 2; // 2 番目のポイントを凡例作成に使う。(ID 5895)

データ/イメージのインポート/エクスポート

IRIG(Inter-Range Instrumentation Group)時間フォーマットが、DDD:hh:mm:ss.##### 形式をサポートするようになりました。(ID 751)

ASCII インポートにおいて、ASCII ファイルが“長いファイル名”を持ち、そのファイルが、やはり長い名前であるような列に名前変更されるようなヘッダを持つ場合でも、異常終了しなくなりました。(ID 5730)



OriginLab Corporation	(800) 969-7720, (413) 586-2013
One Roundhouse Plaza	Fax (413) 585-0126
Northampton, MA 01060 USA	www.originlab.com

0101/04 のような日付フォーマットのデータが、正しくインポートされるようになりました。これは Origin 7.5 SR1 で導入されたバグでした。(ID 5798)

長い名前を持つデータファイルが繰り返しインポートされるような場合でも、正しくワークシート名が設定されるようになりました。(ID 5800)

16 ビットの TIFF イメージデータを行列にインポートする場合、XY マッピングが正しく行われるようになりました。(ID 5918)

グラフのインポート/エクスポート

グラフの TIFF エクスポートのデータ圧縮オプションの設定が記憶されて引き継がれるようになりました。(ID 5454)

LabTalk スクリプト

「Label Control Window Create」のイベントが、「Window Activate」をトリガーしなくなりました。(ID 5281)

「run.LoadOC」メソッドが、option = 2 (リビルト強制)の場合でも、正しく動作するようになりました。(ID 5432)

次のメニューが「menu ?---」コマンドで正しく動作するようになりました：ワークシートウィンドウ - 「データ」および「統計」メニュー、行列ウィンドウ - 「解析」メニュー (ID 5819)

ワークシートで列のデータ型が数値に設定され、かつ、列の XY 属性がエラーバーに設定された場合、「value = %(%H,4,1)」のような記法が正しい値を読み込むようになりました。(ID 5825)

LabTalk の「Create -s」コマンドが、グラフに新しいデータプロットを追加しなくなりました。(ID 5792)

ボタンから実行されるべき Origin C 関数が存在しない場合、エラーメッセージ「エラー：スクリプトの実行に失敗」がスクリプトウィンドウに出力されず。(ID 5468)

Label Control:Script、Run After: Window Create 及び Window Close が正しく動作するようになりました。旧バージョンの動作と異なることに注意してください。スクリプトは、ウィンドウが最初に作られた時、実行されますが、プロジェクト・エクスプローラが異なるフォルダをアクティブにするために利用された時や、プロジェクトが開かれた時などは実行されません。また、スクリプトは、ウィンドウが閉じられた時のみ、実行されますが、プロジェクト・エクスプローラが異なるフォルダをアクティブにするために利用された時は実行されません。(ID 5057)

コードビルダ

コードビルダで「ワークスペースを新規保存」のコマンドが「Temporary」フォルダのファイルを削除しなくなりました。(ID 5381)



OriginLab Corporation
One Roundhouse Plaza
Northampton, MA 01060 USA

(800) 969-7720, (413) 586-2013
Fax (413) 585-0126
www.originlab.com

Origin C

Origin C の「matrixbase::Difference」関数が、パラメータ nOrder >1 のような場合でも、正しい結果を返すようになりました。(ID 3700)

Origin C の「Page::Create」メソッドの第 1 引数(lpszTemplate)の仕様が、変更されました。この値が空文字列あるいは NULL の場合、テンプレート無しでワークシートあるいは行列が生成されます。0 が渡されると、デフォルトのテンプレートを使ってワークシートあるいは行列が生成されます。(ID 4424)

Origin C の「FindCol()」関数が改良されました。列ラベル文字列からの列が返されます。(ID 5150)

Origin C の「SetRange」メソッドが、自動範囲をサポートするようになりました。もし i1 あるいは i2 の値が -1 ならば、範囲の終了は「自動」に設定されます。もし i1 あるいは i2 の値が -2 ならば、範囲の終了の設定は変更を受けません。(ID 5409)

Origin C において、文字列終端文字の '\0' が正しく動作します。(ID 5641)

Origin を起動し、Origin ワークスペースの System フォルダにファイルが含まれており、それがコンパイルできない場合、Origin は「System フォルダのビルドに失敗しました。解決を図ってください」というエラーメッセージをスクリプトウィンドウに出力します。このメッセージは、「Build on Startup」の設定がオンであり、ワークスペース中のいずれかのフォルダにファイルが含まれ、それがコンパイルできない場合もこのメッセージが出力されます。(ID 5648)

Origin C のクラスベースダイアログ中の ON_CHANGE_LAYER が正しく動作します。(ID 5732)

Origin C の GetNBox のボタンイベントハンドラーがダイアログを正しく更新するようになりました。(ID 5738)

Origin C の GetNumTokens メソッドが、トークンの数がゼロの場合でも、(1 でなく) 正しく 0 を返すようになりました。(ID 5813)

Origin プロジェクトファイルがコードビルダの Project フォルダにソースファイルを含むような Origin プロジェクトが、そのソースファイル名をパラメータとして含むような Windows のコマンドラインによって開かれた場合、イベント「BeforeCompileSystem」と「AfterCompileSystem」がトリガーされます。(ID 5853)

Origin プロジェクトに Origin C ファイルが添付された場合、その添付ファイルの個数が、<+n> のように Origin ウィンドウのタイトルバーに表示されます。(ID 5869)

「GetInternalDataType」メソッドが、matrixbase クラスに追加されました。このメソッドは、matrixbase の派生オブジェクトの内部/基盤データタイプを得ます。(ID 5936)

Origin C matrixbase の SetSubMatrix メソッドが、パラメータ値がマイナスの整数である場合も、正しく動作するようになりました。(ID 5952)

Origin C を使って上 X 軸の位置を得たり、設定することができるようになりました。(ID 5647)

ダイアログビルダ

PFM や NLSF のウィザード処理において、手続きファイルが保存される際、手続きファイルに関連付けられたボタンが正しく動作するようになりました。(ID 5861)



OriginLab Corporation
One Roundhouse Plaza
Northampton, MA 01060 USA

(800) 969-7720, (413) 586-2013
Fax (413) 585-0126
www.originlab.com

OriginPro : MOCA

MOCA DLL をユーザフォルダからロードする動作が正しく行われるようになりました。 (ID 5586)

オートメーション・サーバー

オートメーションサーバー(COM)において、あるクライアントが実行中、他のクライアントをロックするメカニズムが利用可能になりました。そのため、2つのオブジェクトがあります： (i) Origin.Application, (ii) Origin.ApplicationSI ; 最初のオブジェクトはマルチインスタンスのもので、1つのオブジェクトを作る全てのリクエストは、新たな Origin インスタンスを起こします。2つ目のオブジェクトは、シングルインスタンス用のもので、もし存在するならば、実行中のその Origin インスタンスが選び取られます。 (ID 4074)

その他

プロジェクトの変更が、軸ダイアログ等のダイアログを開き、キャンセルボタンを押しただけのような場合、プロンプト「変更したプロジェクトを保存しますか？」が出力されなくなりました。 (ID 5702)

Origin プロジェクトファイルを保存する際、引用符(‘)がパス名に含まれる場合、「保存する opj ファイルを開くことができません。ファイルが使用中か読み取り専用です」という注目ダイアログが現われることがなくなりました。フォルダ名に引用符を含むような場合でも、ファイルを保存することができるようになりました。 (ID 5721)

「Z」にマップされたネットワークマウントのドライブに、ユーザファイルを保存することができるようになりました。 (ID 5948)

OPJ プロジェクトファイルをダブルクリックした時、今までそのプロジェクトの Origin の起動に失敗することがありましたが、正しく起動されるようになりました。 (ID 5752)

ライセンス管理

FLEXlm サーバーが停止され、Origin の 3 分期限のモードが完了する前にリスタートされた場合でも、Origin が正しくその状況を検地するようになりました。以前はその検出がうまくいかず、サーバーは、3 分の期限内にリスタートされなければなりませんでした。 (ID 5386)

新しい LabTalk コマンド「help -c」により、コンピュータ ID がスクリプトウィンドウに出力されるようになりました。このコマンドは FLEXlm ライセンスファイルの生成に役に立ちます。 (ID 5724)

ライセンスの借り出し機能で、借り出し中に Origin のグループメンバーがアンインストールされた場合でも、借り出したライセンスが正しく返却されるようになりました。 (ID 5886)

イーサネットボードが取り外された場合の猶予期間が、1 週間ではなく、2 週間になりました。 (ID 5852)

インストール処理

インストール先のパスの名前に「@」を含めることができなくなりました。 (ID 5629)



OriginLab Corporation	(800) 969-7720, (413) 586-2013
One Roundhouse Plaza	Fax (413) 585-0126
Northampton, MA 01060 USA	www.originlab.com

クライアントのインストールにおいて、サーバーパスが UNC であることが要求されなくなりました。
(ID 5947)



OriginLab Corporation
One Roundhouse Plaza
Northampton, MA 01060 USA

(800) 969-7720, (413) 586-2013
Fax (413) 585-0126
www.originlab.com